

# 日本をキリストへ 協力

9

「日本をキリストへ」  
伝道団体連絡協議会

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1  
OSCCビル日本福音クルセード気付  
TEL 03-295-4414

## 御霊の現われ

協議会副会長

原

登

へ奉仕にはいろいろ種類がありますが、主は同じ主です。働きにはいろいろの種類がありますが、人はすべての人の中ですべての働きをなさる同じ神です。しかし、みな益となるために、おのおのに御霊の現われが与えられているのです。〳

I コリント十二4〜25

ペンテコステ（五旬節）の際、神の御霊が弟子たちの集団に注がれて以来、御霊の賜物が多くの人々に与えられて今日に及んでいます。

しかし、霊の賜物というものは、決して同じものではありません。人間には皆それぞれ個性がある様に、霊の賜物もまた個性的であります。千辺一律の信仰を人々に強制することはできません。

ところでコリントにある教会には、様々な霊の賜物を持った人々が多かった様であります。使徒パウロは、テキストの中で、いくつかの例を上げていますが、勿論これは、全部を上げたわけではないでしょうが、少なくともその代表的なものを列挙したに違いありません。ある人は、8節以下の賜物を五つに分類しています。①知恵と知識及び理解力に関する賜物、②奇跡を行う賜物、③預言の賜物、④霊的現象を識別する賜物、⑤異言の賜物であります。

二

コリントの教会には、それぞれ異った霊の賜物を

持つ人々が多かった様で、その意味においては、すぐれた、恵まれた教会であったといえるのでありません。しかしながら、彼らには一致がありませんでした。一つの教会共同体としての意識に乏しかったのであります。チームワークを重んじるスポーツの選手団は、よしかりに一人一人が優秀であったとしても、そこに一致した一体感というものがなければ、真の力を発揮する事はできません。パウロはへみなの益となるために、おのおのに御霊の現われが与えられているのです〳〵と言いました。

教会における交わりとか連帯化といわれる場合、それは決して同色になってしまふ事ではありません。交わりに入るそれぞれが皆固有の性質をもつ事を相互に認めねばなりません。虹がそれぞれ固有の色を保ちつつ、それぞれが調和して美しく空を飾る如くであります。連帯という事は、両方の当事者が互いに他者である時にはじめて意味を持ち、異なる他者が一つの使命のもとに連帯するところに美しい教会の交わりが生まれ、神のみ業が進むのです。

三

伝道団体連絡協議会に属するものも多種多様であります。しかし、御霊の現われとしての奉仕形態をもつ各種の伝道団体が一つになって主の証をしようとしていきます。それがこの度の「フェスティバル」であります。

この度の「第二回伝道団体フェスティバル」が前回に引き続いてすばらしい効果をあげる事を確信しているものです。

# 新年情報交換会

## 市村和夫



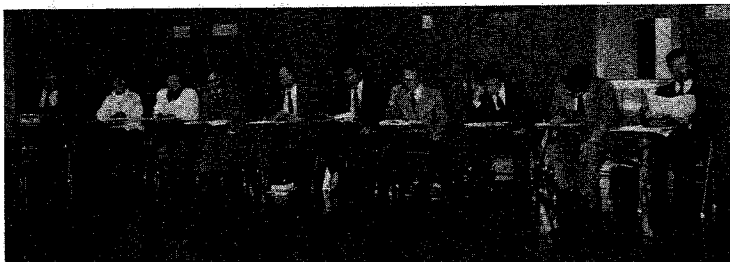
新年情報交換会・懇談会は、各団体がそれぞれ情報をもち合うことにより、また話し合い祈り合うことによって、お互いが日本の宣教の一部を担っているのだという意識をもち主にあって協力し合い、助け合うことのできるすばらしい機会であった。毎年情報交換会・懇談会を行うことによって、伝道団体が協力し合い、日本の宣教の働きが進められていることを知ることは大いなる励ましであり感謝であります。

(市村和夫・記)

伝道団体連絡協議会の新年情報交換会・懇談会が2月12日(金)午後2時から5時まで、お茶の水学生キリスト教会館一三号室で行われた。25団体より36名が出席し、なごやかなうちにそれぞれの団体の計画を交換し合い、話し合いの時をもつことができた。

第一部は久保英夫氏(いのちのことば社)の司会による礼拝で、K・マクビティ氏(いのちのことば社)よりのみことばの励ましがあった。そして第二部は情報交換の時として多胡元喜氏(クリスチャン新聞)の司会により36団体よりそれぞれ3分間、団体の紹介、PR、今年目標、予定計画、祈りの課題などを分かちあった。第三部は懇談の時と

して市村和夫氏(国際ナビゲーター)の司会が進められ、①昨年の箱根一泊研修懇談会の反省……岩崎喜太男氏(太平洋放送協会)の説明のあと、箱根一泊研修懇談会の内容については各団体とも一応の満足をもって参加しているとの意志表示があった。時期については、11月は団体によっては忙しいとの声もあったが、やはり他の月と比較すると11月がいのではないかという意見で一致した。今年は一案として11月24日(木)〜25日(金)はどうかという提案があり、常任役員会で検討することになった。②ファミリー伝道年については多胡元喜氏(クリスチャン新聞)より、今年をファミリー伝道年とした経過説明があり、伝道団体フェスティバルをはじめ、各団体の今年プログラムの中に家族への伝道を強調していくようお互いで話し合った。③第二回伝道団体フェスティバルについては、A・ホーランド氏(日本キヤンパス・クルセード)より今までの準備の経過説明があり、プログラムの日程、内容等について具体的な報告があった。各団体よりの要望や意見を出して話し合った。4月22日(金)に参加者による説明会が行われる旨実行委員会よりの案内があった。



日本をキリストへ



# 伝道団体 フェスティバル



- 展示
- 講演
- 各種セミナー
- コンサート
- 喫茶

6/16(木) ⇒ 18(土)

主催 / 伝道団体フェスティバル実行委員会 ☎03-233-1260

## 展示について

52加盟団体のうち、参加団体47、展示には30団体が協力してくださいました。今回は、来館された方が見やすいように、各フロアーをカラーで分けました。

新館九階レッド(赤)フロアーには伝道、報道、放送の15団体が、新館八階ブルー(青)フロアーには文書、音楽、映像の15団体の展示があります。

● 旧館二階イエロー(黄)フロアーでは切り絵の小堀正路氏、現代造形美術の田ヶ原弘氏、トラクト伝道に三十年をかけたイラストレーター・タナカヒカル氏によるクリスマスチャン・アーティスト三人展を開催いたします。

また、同フロアーにはお母さん方のために保育室を用意いたしました。お子さまたちには、常時、子供向けの映画を上映いたします。ミニ・シアター名作劇場は大変人気の高い名作、炎のランナー(17日)、ベンハー(18日)を催物の間に前編・後編に分けて、それぞれ上映いたします。ぜひお見逃しのないように。他の時間帯には子供向けの映画を上映いたします。

旧館一階グリーン(緑)フロアーは、各教会提供による特別展示コーナーです。皆さんの教会で用いられているポスター、チラシ、週報、月報、記念誌、教会案内、教会堂建築に関する物など広く募集します。ぜひご協力ください。同フロアーには喫茶コーナーを開

きます。前回よりも広いスペースで、市価の二割引きで食事などを提供いたします。飲物無料券も抽選で差上げます。

今回はご入場の皆さま全員に、入口でプレゼント抽選券を差上げ、全フロアーをご覧になり、各階でマークを押していただくと、ビッグなプレゼントが抽選で当たります。

## 催物について

「真実のふれ愛」のテーマで、七つのスペシャル・プログラムを組みました。

- 家族の救い
- 夫婦の真実のふれ愛
- 神の家族の喜び
- 愛は裁かず

現代の家族の悩み  
以上五つはテーマにそって講演がなされます。どれをとっても、まさに現代の身近な問題に触れており、伝道の大きな導き、具体的なアドバイスとなることでしょう。

フライデイ・ナイト・スペシャル  
サタデイ・スペシャル  
それぞれ賛美と楽しい伝道会として、高らかに主を賛美し、証する集会としたいと願っています。

今から多くの友人・知人に声をかけてください。たくさんの方が参加者が与えられるように祈っています。

## 定期総会のご案内

第四回定期総会は左のように開催されます。

\*一九八八年六月一日(木)

\*午後二時～三時半

\*OSCC旧館一階一一三号室

この日から第二回伝道団体フェスティバルが開催されるわけで、準備に追われているかとは思いますが、各団体の代表者の方々がお集りくださればと思い、この日時といたしました。別の日程を組むよりは皆様にとって都合がよいのではないかと判断いたしましたので、このようにさせていただきます。よろしくご参加くださいますようお願い申し上げます。

今回は活動報告、会計報告と新年度の活動計画案、予算案を審議していただくことになっていきます。

伝道団体相互のよりよい交わりと協力のために皆様の積極的な参加を期待しています。新しい団体で未加盟団体がありましたら、ご紹介ください。

総会後すぐにフェスティバルが始まります。そのまま残りください。午後四時から30分間フェスティバルのための祈禱会が開かれ、午後五時からオープニング・セレモニーが始まります。各代表者にはぜひ出席いただきたいと思っております。

## 一泊研修懇談会のご案内

一泊研修懇談会も回をかさねて四回目を迎えるようとしています。いままでは毎回箱根を会場にして開いてまいりました。今年は例年のように秋を予定しています。

\*一九八八年十一月二四(木)～二五日(金)

\*場所は箱根にするか伊豆にするかと検討中です。よい場所をご存知でしたら、ぜひお知らせください。

前回は23団体から30人の参加者があり、懇談のテーマは「ローザンヌ誓約と京都宣言における宣教理念とパラチャーチのかかわり」でした。今回はまだテーマをしぼりこんでいません。皆様のご要望があればお知らせください。皆様に共通したテーマをと考えているのですが、なかなかよいものが浮かんできません。事務局員の研修となるようなものはどうだろうかとの意見はでています。

忙しい中にもいますお互いですが、この研修懇談会では、翼を垂れ、いこい、また学び、祈るのです。とても幸いな時です。各団体のリーダーだけでなく、より多くの働き人が出席してください。それだけ恵みが還元できるのではないかと思います。交わり、研修、懇談の一泊二日です。今からこの日程を確保し、より多くの方が参加できるように配慮していただければ幸いです。詳しくは決り次

第お知らせいたします。

## 新加盟団体ご紹介

●ソング・ライズ

359 埼玉県所沢市榎町六一一六

電話 ○四二九一二六一九九一一

代表 マーク・ラムクイスト

長年、ELIという団体のもとで、音楽伝道の働きに携わってきました。いままでも多くの一流の音楽家を日本に招き、よいコンサートを開催してきました。これからもコンサート、セミナーを通して教会における音楽のレベルを上げ、よりよく主に仕えていけるよう奉仕をしていきたいと願っています。

●リビング・ウォーター・インターナショナル

160 新宿区信濃町一一 五十嵐ビル

電話 ○三一三五三三七九〇一

代表 キース・リッター

海外からのクリスチャンが日本を訪れ、日本にもリバイバルが起ころうとしていると感じ、特にカルバリー・チャペルから働き人が来日し、日本の各地で集会をしていこうとしています。そのまとめ役としての働きをしています。

●発行日 一九八八年六月一日

●発行者 本田 弘 慈

●編集者 姫井 雅 夫